

言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った  
社会科の授業実践例

北広島立大朝中学校

- 1 学年・単元名 第3学年 「消費生活と経済のしくみ」
- 2 本時の目標 資料の分析を通して、市場経済では価格の働きによって需給ともにより満足のいく均衡価格がいずれ決定され、また需給量によっても価格が変化するしくみを需給双方の立場から説明できる。
- 3 本時の工夫点 表やグラフなどの資料を分析し、関連付けて思考させる場面や、根拠を明らかにし自分の意見を表現させる場面を設定する。
- 4 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
学習目標 「資料をもとに、ハンバーガーの最適な価格を見つけよう。」		
1 資料1「市場での価格の決まり方」から考えたことを発表する。	<p>様々な角度から物事をみる技術 価格の変化にともない需給量が変わることについて、生産者、消費者のそれぞれの立場から考えさせる。</p>	
2 資料2「ハンバーガーの価格と需給量」をもとに資料3「ハンバーガーの価格と需給曲線」のグラフを作図させ、作成したグラフの特徴を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者が満足する価格は、利益があり、生産した商品がちょうど売り切れる価格であることをとらえさせる。</li> <li>・消費者が満足する価格は、不足せず必要な人全員が買える価格であることをとらえさせる。</li> </ul>	
3 資料2，資料3を関連付けて、ハンバーガーの最適な（均衡）価格を考える。また、そう考える理由を発表する。	<p>情報を的確に分析する技術 価格と需給量との関係について、必要な情報を分析できるように注目すべき視点を与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供給曲線から、生産者は同一商品なら価格が高いほどたくさんの商品を売りたいことを読み取らせる。</li> <li>・需要曲線から、消費者は同一商品なら価格が安いほどたくさん買いたがることを読み取らせる。</li> </ul>	
<p>・資料をもとに考え、読み取った情報を根拠に意見を発表する。</p> <p>4 資料4「きゅうりの取扱量と平均価格」を提示し、きゅうりの平均価格のおおまかな変化を書かせ、ペアで意見交換させる。</p> <p>・学んだ見方や考え方を活用し、関連させて考えさせる。</p>	<p>情報を正しく伝える技術 自分の意見の根拠となる情報を見つけ、関連付けて説明できるように、資料から読み取れる情報を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場では、需給量の関係の変化によって価格が変化し、需給量が一致する均衡価格（需要曲線と供給曲線の交点）が決まることを確認する。</li> <li>・学んだ見方や考え方を書いてまとめさせる。</li> </ul> <p>情報を的確に分析する技術 学んだ見方や考え方を他の社会的事象に当てはめ活用させることを通して、思考を深め、知識の定着を図る。</p>	
<p>5 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大まかなグラフでよいことを伝える。</li> </ul>	<p>・資料をもとに価格が変化するしくみを理解し、自分の考えを根拠をもって説明している。 (発表内容、ワークシートの記述)</p>